

# トラック事業者に対する フレキシタンクを用いた液体輸送に係る実態調査

---

# フレキシタンクを用いた液体輸送に係る実態調査

## 事故概要

平成26年8月23日、トラクタ・コンテナセミトレーラが走行中、国際海上コンテナ内のフレキシタンクから米油約7000ℓが道路上に漏洩した。この影響とみられる交通事故が大阪府内から和歌山県内にかけて発生し、7名が重傷を負い、14名が軽傷を負った。



コンテナ内部の状態



フレキシタンクの損傷状態



この図は、国土地理院の地理院地図（電子国土Web）を使用して作成

◆液体の路上への漏洩はスリップ事故等を誘発する恐れがあるものの、フレキシタンクの使用について、その安全対策の明確な指針等がないのが現状。

◆国土交通省としても、フレキシタンクの液体輸送の実態を把握し、安全確保のための取組を検討することを目的とし、このアンケートによる実態調査を実施

# フレキシタンクを用いた液体輸送に係る実態調査

## 概要

主にフレキシタンクによる液体物の輸送実績、漏洩実態等について、平成29年6月～7月にかけて貨物事業者へ調査を実施

## 対象

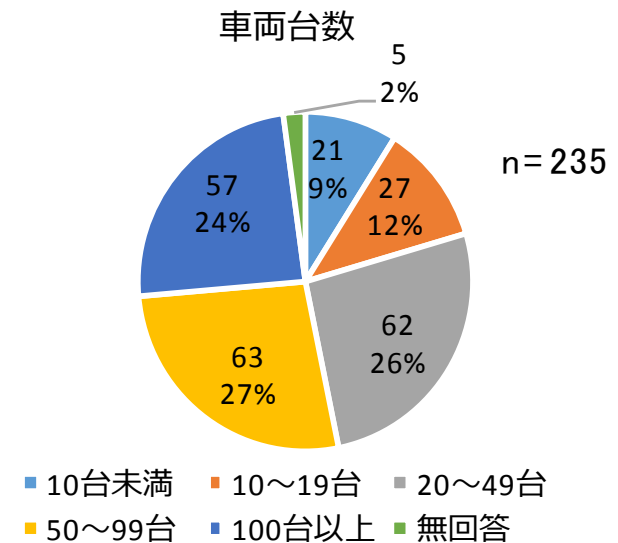
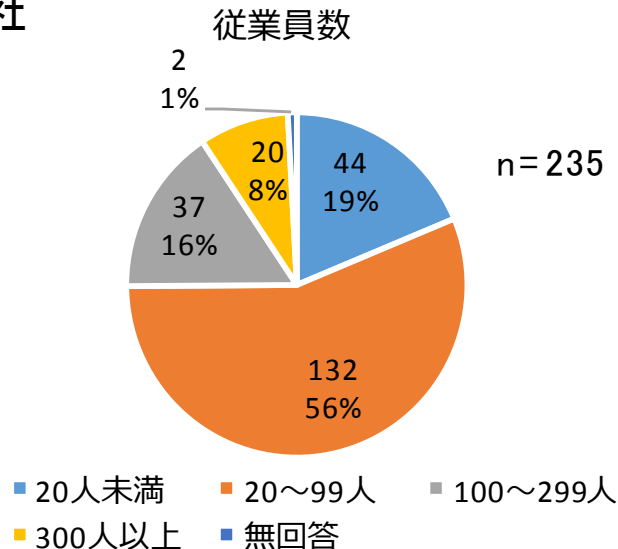
全日本トラック協会海上コンテナ部会会員事業者 1,224社

## 調査内容

- ◆液体物をフレキシタンクで輸送した実績の有無
- ◆フレキシタンクで輸送する主な液体物
- ◆フレキシタンクの破損により液体物が漏洩したことの 有無
- ◆漏洩したことがある場合、その概要(品目、どこでわかったか、漏洩時の対応 等)

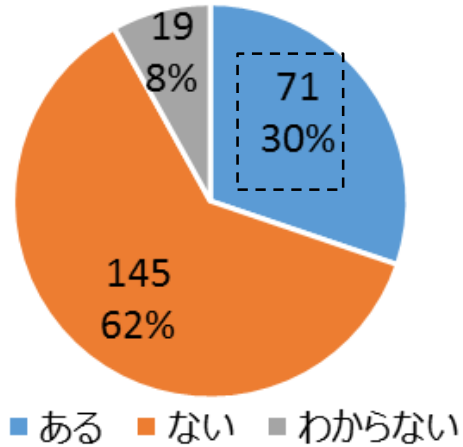
## 【調査結果】

回答事業者数:235社

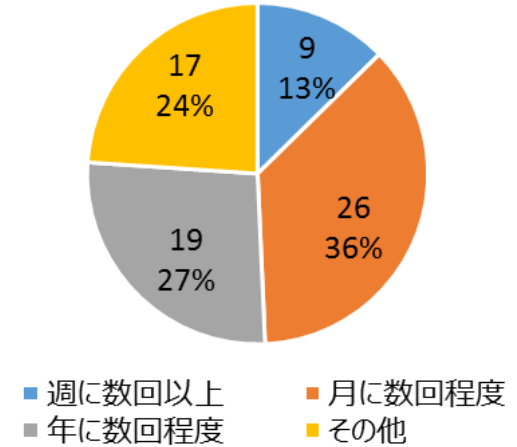


# フレキシタンクを用いた液体輸送に係る実態調査

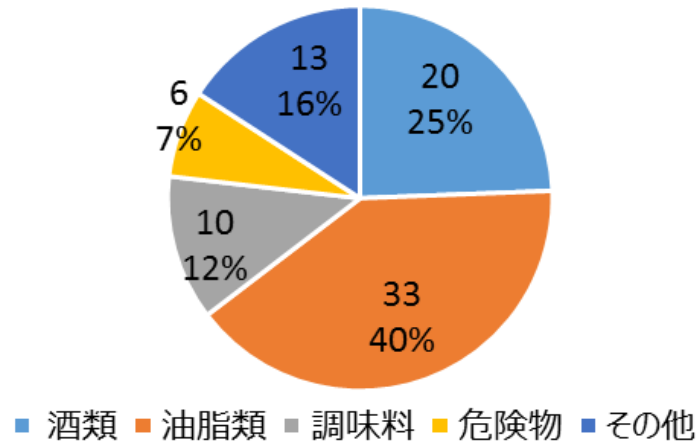
液体物をフレキシタンクで輸送した実績 n=235



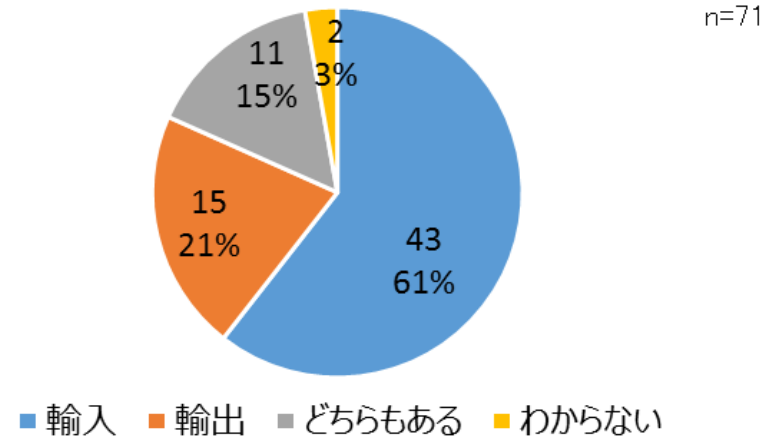
フレキシタンクで液体物を輸送する頻度 n=71



フレキシタンクで輸送する主な液体物 n=71



フレキシタンクを用いた液体物の輸送は輸出か輸入か n=71



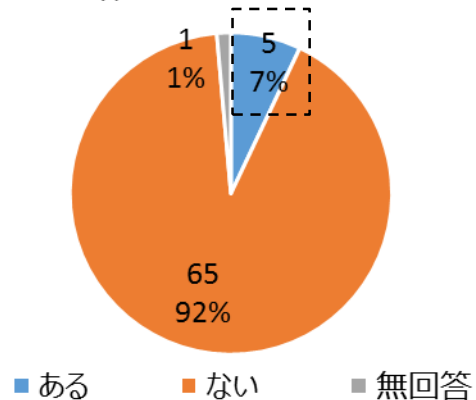
# フレキシタンクを用いた液体輸送に係る実態調査

平成26年以降のフレキシタンクの漏洩実態

⇒5社より漏洩事案(5件)があったと回答があった

フレキシタンクを用いた液体物を輸送する際、フレキシタンクの破損により液体物が漏洩したことがあるか

n=71



## 【事案1】

積載物: 研磨剤

事故の有無: 物損

輸出・輸入の別: 輸入

漏洩を把握した段階: 事故発生直後

## 【事案4】

積載物: 米油

事故の有無: なし

輸出・輸入の別: 輸入

把握した段階: 卸作業中

## 【事案2】

積載物: 調味料

事故の有無: 無回答

輸出・輸入の別: 輸入

把握した段階: コンテナヤード搬出時

## 【事案5】

積載物: パーム油

事故の有無: なし

輸出・輸入の別: 無回答

把握した段階: コンテナヤード中で  
アウトゲート時に発見

## 【事案3】

積載物: アルコール

事故の有無: なし

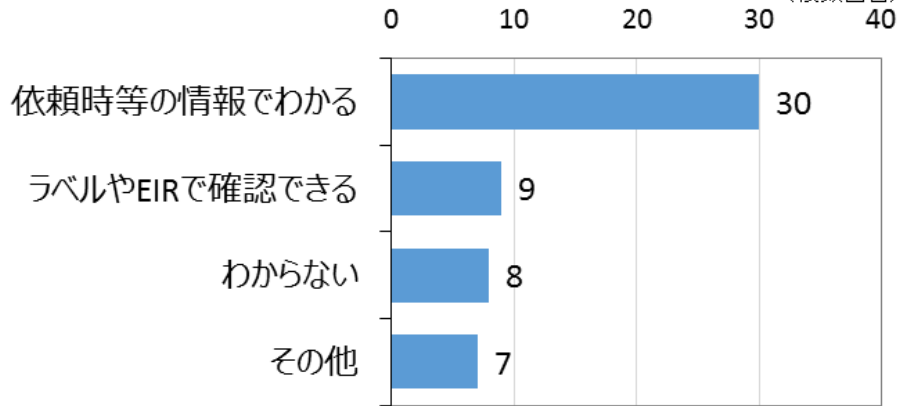
輸出・輸入の別: 輸入

把握した段階: コンテナヤード搬出時

# フレキシタンクを用いた液体輸送に係る実態調査

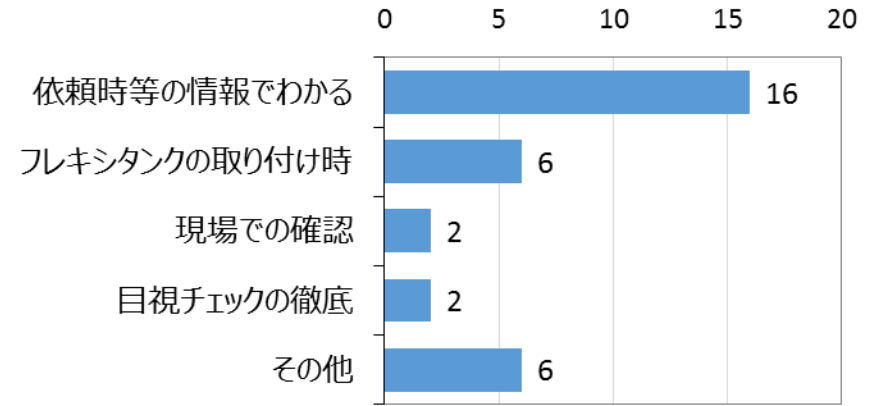
輸入の場合、フレキシタンクに梱包されていることがわかる  
 場合があるか。その場合どのようにしてわかるか

n=46  
 (複数回答)



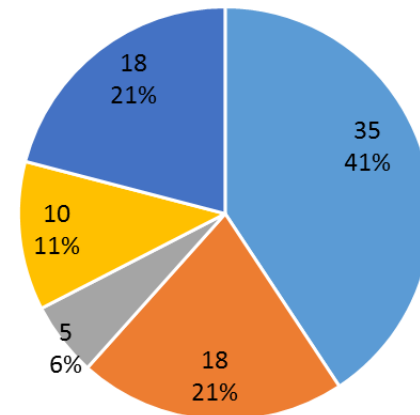
輸出の場合、液体物の梱包がフレキシタンクであることをど  
 のように把握しているか

n=32



フレキシタンクによる液体輸送の際、輸送に不安を感じる、又は漏洩が  
 発生した事例のある積載形態はどのようなものか

n=53  
 (複数回答)



その他の意見として、「コンテナ内の確認が  
 できないことへの不安や、枠があったとして  
 も揺れを感じる」という回答があった